



学校だより

10月号

令和2年 9月30日

さいたま市立植竹小学校

〒331-0813 さいたま市北区植竹町2-1

TEL 048-663-7627

FAX 048-663-9885

E-mail uetake-e@saitama-city.ed.jp

学校教育目標 ○すすんでまなぶ子 ○たすけあう子 ○げんきな子

児童数 745名

子どもたちの成長のために

校長 野津 美智代

2学期の始業式に以下のような話をしました。

『2学期が始まるに当たって、植竹小の皆さんに、頑張ることを一つ決めてほしいと思います。どんなことでも、いいです。ただし、決めるのに、約束ごとがあります。それは、今まで、誰かにやってもらっていたことの中から自分の力でやることを一つ決めてほしいのです。

例えば、

○家の人に朝、着ていく洋服を選んでもらっていたけど、自分で選んで着てこよう

○家の人に洗ってもらっていた給食の箸は、自分で洗って用意をしよう

○家の人に朝、起こしてもらっていたけれど、自分で目覚ましをかけて起きてみよう

○机の上や周りが、片付けられなくて、家の人や先生から注意を受けていたけど言われる前に片付けてみよう など

皆さんは今、家の人や先生、地域の方々の助けをたくさん借りて、生活しています。でも、大人になると、何でも自分でやらなければなりません。一人暮らしをしている自分を想像してみてください。

自分の身の回りのことができないと、困りますね。料理、洗濯、掃除、生活費の使い方、買い物、仕事や勉強、困った時に相談できる人を見つけることなど、やらなければならないことがたくさんあります。

大人になるための階段を今、皆さんは、一歩ずつ歩んでいます。大人になってから、困らないように、今から自分の力でできることを、少しずつ増やして行ってほしいと思います。』

数日後、6年生の児童が、「校長先生、ぼくは〇〇を毎日頑張っています。」と話しかけてきてくれました。

親がいつまでも、子どもの面倒を見てあげることにはできません。子どもたちがやがて大人になって自分の力で人生を切り拓いていくことができるよう、親として、教師として、人生の先輩として、それぞれの立場で子どもたちの成長を見守っていかれたらと思います。

子どもたちが、親の元から巣立っていく日のことを考えながら一。

一人暮らしを始めた我が子を想う一人の母親として実感する今日この頃です。